

「警告！インフレは不況を意味する」©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996

1996年4月27日(土) - 5月19日(日) **入場無料**

開館時間=午前9時~午後5時まで(金・土曜日は午後7時まで開館、入館は閉館の30分前まで)

休館日=4月30日(火)、5月7日(火)、8日(水)、13日(月)

〔ミュージアムコンサート〕澤 和樹 弦楽四重奏団 **入場無料<要整理券>**

●5月19日(日) 午後2時~午後4時 ●会場/美術館2階・第3展示室

主催=刈谷市/刈谷市教育委員会/刈谷市美術館/中日新聞社

後援=アメリカ大使館/イスラエル大使館/愛知県教育委員会

協力=多摩美術大学附属美術館/ギャラリー・アート・ポイント/株式会社アートプランニング レイ

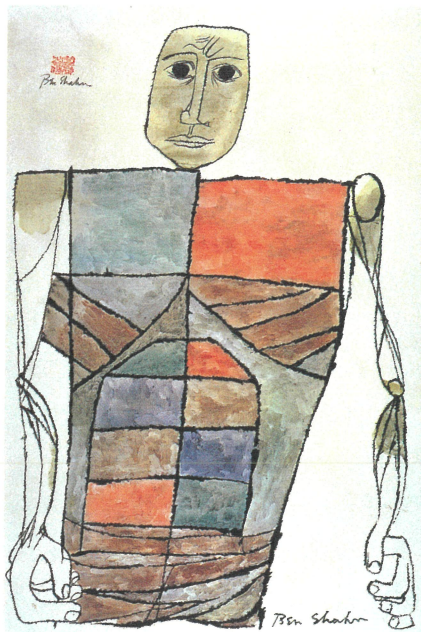
刈谷市美術館

ベン・シャーン
創造のプロセス

Ben Shahn

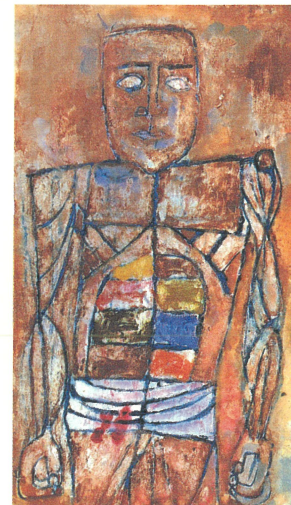
ベン・シャーン

創造のプロセス



「フィラデルフィア美術館」
丸沼芸術の森 蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996

「解剖学的人間」(フィラデルフィア美術館のための
ポスター)の習作 ギャラリー・アート・ポイント蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996



ベン・シャーン(1898-1969)は、戦前、戦後のアメリカを代表する作家の一人です。彼は、リトアニアのユダヤ人家庭に生まれ、8歳の時家族とともにニューヨークに移住しました。幼い頃から絵を好んだ彼は、13歳の時から石版画工房で見習いとして働きながら夜間の学校に通い、アート・スチューデントズ・リーグ等の美術学校で版画や絵画の技術を学びました。

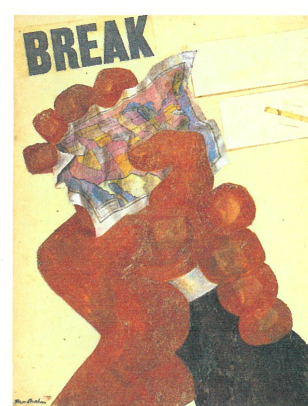
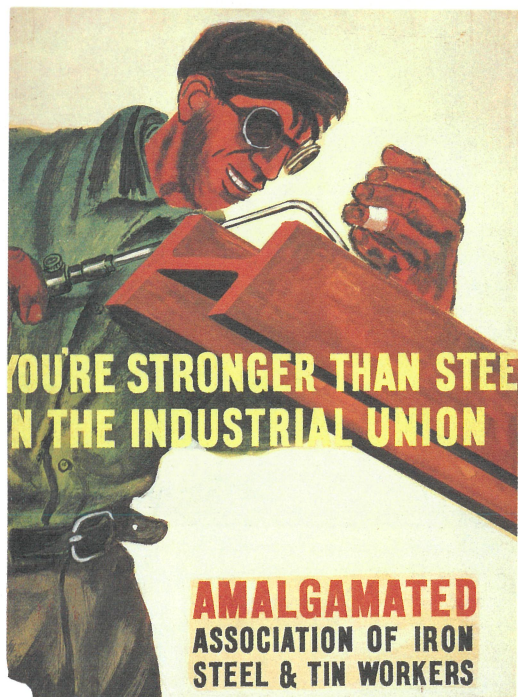
1930年代初頭、シャーンは世界中を揺るがした不況のなかで、「ドレフュス事件」*1、「サッコとヴァンゼッティ事件」*2 など無実の人々が捕えられた事件をテーマに連作を発表し、社会問題を告発する画家として注目されるようになりました。また、大不況のさなか、画家たちの活動を支援するために行われた公共建築の壁画制作に携わる一方、再入植局や農業保護局の依頼でアメリカ国内各地を訪ね、庶民生活を写真に記録して歩きました。そして、これらの写真をもとに、人々の何気ない日常を描いた〈サンデー・ペインティング〉と呼ばれる作品群を制作しました。さらに、戦争の悲惨さを訴えるポスター、労働組合活動のためのポスターなども描きました。

しかし戦中からは、政治的・社会的批判の作風から次第に離れ、空虚、悲劇などの抽象的な主題を持った作品を描くようになります。終生多くの人々から共感を得た彼は、「社会と芸術」、「人間と芸術」への関心を抱きながら盛んな制作活動を展開しました。

このようなシャーンの作品を特徴づけるもののひとつに、独特の震えるような線描があります。彼は、思索しながらゆっくりと引いたその線に、激しく、また温かい感情を込めたのでした。本展覧会は、彼の制作過程のなかで残された多くのエスキース(下絵)、ドローイング(素描)、スケッチ類を中心とした約180点によりシャーン芸術の創造プロセスを辿るとともに、その特質や彼が人々に宛てたメッセージを探ろうとするものです。

*1 1894年にユダヤ系フランス陸軍砲兵大尉アルフレッド・ドレフュスがドイツのスパイであると断定され、終身刑の宣告を受けた疑獄事件。1906年に無罪が確定した。

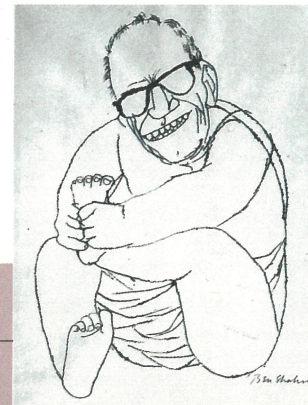
*2 1920年にマサチューセッツ州で起きた強盗殺人冤罪事件。イタリア系移民のニコラ・サッコとバルトロメオ・ヴァンゼッティは、証拠がないにもかかわらず殺人罪で死刑を宣告された。1927年、2人の死刑が執行された。



「逆行する支配を許さな」(工業組合会議のためのポスター-原画) ギャラリー・アート・ポイント蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996

「DON'T TAKE CHANCES...」ポスター習作
ギャラリー・アート・ポイント蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996

「あなたは工業組合において鉄より強い...」
ギャラリー・アート・ポイント蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996



「バリー・ゴールドウォーターのポートレート」
丸沼芸術の森 蔵
©Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 1996

刈谷市美術館

■所在地
〒448 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 TEL 0566-23-1636 FAX 0566-26-0511
■交通案内
JR東海道本線・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩7分
■駐車場
43台収容可能(無料)

